

第 1378 会 例会

11 月 28 日（火）金沢ニューグランドホテルにて通常例会が開催されました。

若林会長の挨拶では、寒暖の差が激しく、体調コントロールが難しいこの頃です。皆さん師走に向けてお忙しいことと思えます。

YCE 冬期のホームステイを 12 月 9 日から 12 月 15 日まで私と村上幹事で受け持つこととなりました。マレーシアの T O H M i n Y u（トー ミン ユー）さん 19 歳、生物学を勉強している女学生さんです。3 人兄弟の長女で、歌うこと、ジョギングが趣味です。将来は医者を目指しているということで、12 月 12 日の第一例会に連れてきます。ご期待くださいと挨拶されました。

本日のゲストスピーチはふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会 代表 岩井繁樹様から「福島のと保養キャンプの必要性」の演題で講話されました。保養キャンプとは放射能の影響と不安がある地域に暮らす人々（特に放射能の影響を受けやすい子供たち）が休日などを利用して、他地域に滞在することで放射能の影響や不安から一時的に離れることで、体調を整え、心身の疲れを癒すことを目的として企画運営されるものです。

最初に石川県立能登少年自然の家にて行われた「サマースクール 2017in 石川」のテレビニュースをビデオ紹介しました。大自然の中でのびのびと活動する子供たちの明るい笑顔や、保護者の方々の心の解放感が表情に表れていることが印象的でした。甲状腺の検査も定期的に行っていますが、保養キャンプによって体内の活性化、免疫力の強化につながることは実証されている

そうです。

公的な補助金が減っている中、ボランティアに頼っている状態なので、皆様の協力よろしくお願ひしますと講演を終えました。

細川テールツイスターからは、ホームステイに来られる方のマレーシアには関心があります。東南アジアで唯一土地建物が買える国であるからです。若い人がたくさんいて、これからますます発展する国であります。今度マレーシアに行かれる方は誘ってほしいと例会をしめました。

記事：永野琢也.L

12 月 3 日卯辰山公園で早朝清掃があり多くの L、家族の方が参加され落ち葉でぎっしりだった公園もきれいになりました、

